

自治基本条例特集 [part.9]

町民が主役のまちづくりを目指して

今月号では、第3回自治基本条例検討委員会で決定したこの会の愛称と、グループワーク「なったらイイな！こんなまち」についてご紹介します。

自治基本条例検討委員会の「愛称」が決定しました。

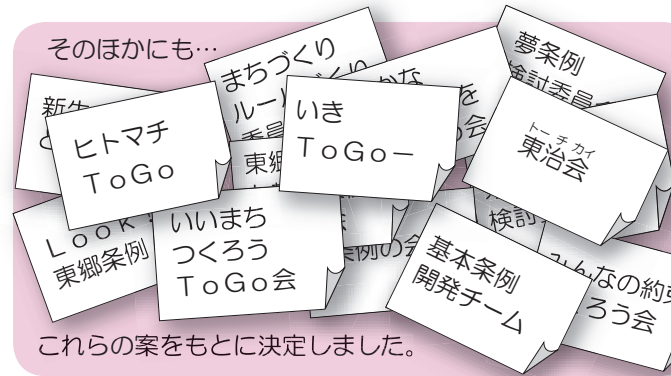
会の愛称「まちづくり条例委員会

～みんなでいきTogo!～

「東郷町自治基本条例検討委員会」という堅苦しい名前ではなく、分かりやすく愛着の持てる愛称を自分たちで付けようと、委員から募った複数の案をもとに名称を検討しました。

まず、自治基本という言葉は町民の皆さんに取っつきにくいイメージを与えるということから、「まちづくり」というやさしい表現に。そして「東郷」に英語の「Togo」と「意気投合」を掛けて、「まちづくり条例委員会～みんなでいきTogo!～」に決定しました。

皆さんもこの名前をぜひ覚えてください。



グループワーク「なったらイイな！こんなまち」

今回のテーマは「なったらイイな！こんなまち」。前回のグループワークでまとめた東郷町の長所・短所を踏まえて、次世代に引き継ぎたい東郷のまちの将来像（ビジョン）を描きました。

5つのグループに分かれ、自分とは違う性別や年代、さらには鳥やネコなど「自分以外」の立場からも将来像を考えてみました。様々な視点から東郷のまちを見つめ直し、各グループのまとめを「東郷未来ものがたり」と題して寸劇形式で発表しました。

また、発表の最後には、各グループで考えた将来像を五・七・五の「まちづくり川柳」としてまとめました。



▲寸劇形式の発表の様子

まちづくり川柳



いきTogo
街にさしこむ
きずなかな

ちがうもの
ひとつにくくる
これ極

金ないが
鳥あり樹あり
絆あり

つながって
笑顔あふれる
ナンバーワン

ひととひと
こころつながる
しぜんとし